

柱にバンドで取り付けるポスターパネル ポールサインパネル 【PG-44R】

PosterGrip®

MADE IN JAPAN

取扱説明書

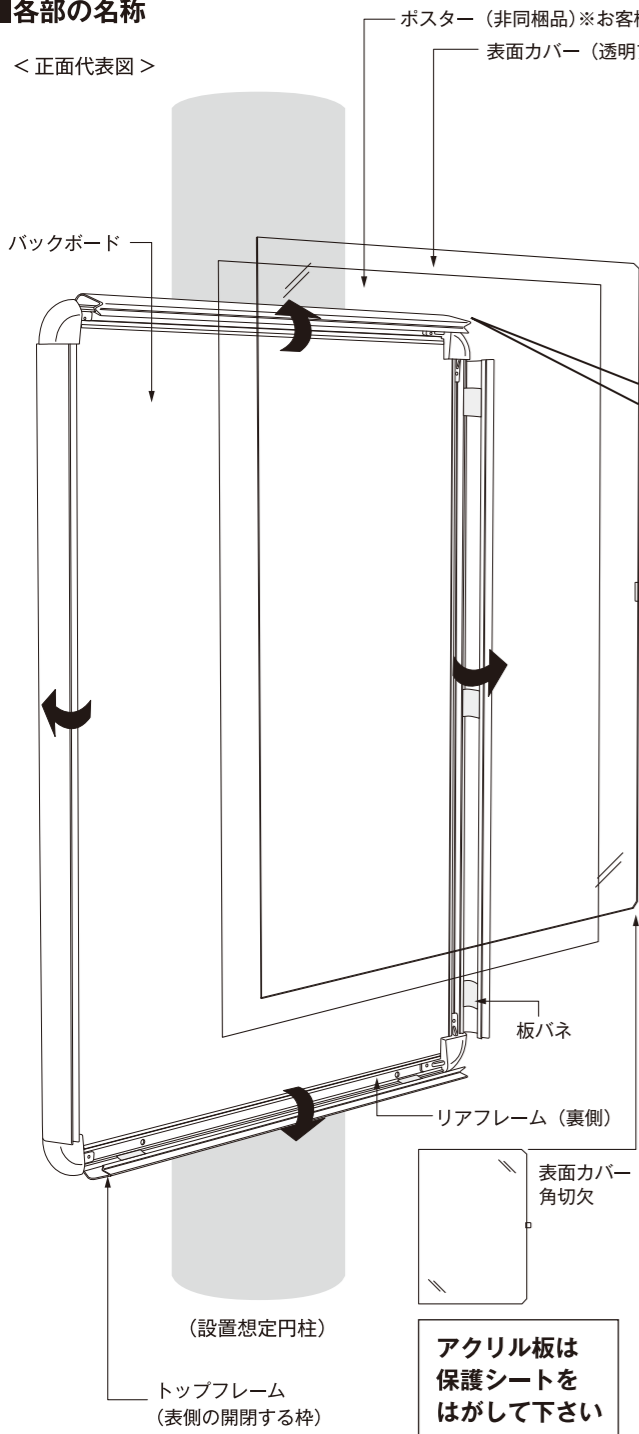
No.27

■ご使用になる前に必ずお読み下さい。

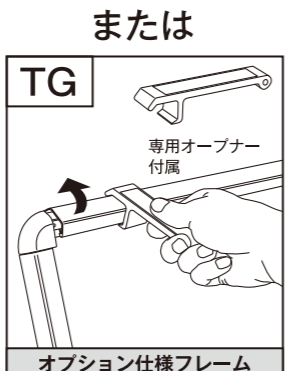
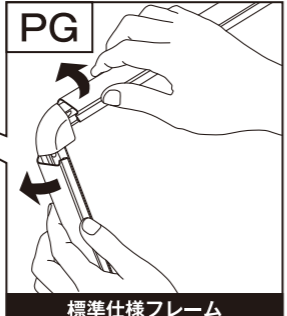
この度は、ポールサインパネルをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用または取付けを行って下さい。お読みになった後は再読できる様大切に保管して下さい。

■各部の名称

< 正面代表図 >



トッフレームの形状はご選択いただいた仕様により、手で開けるポスターグリップ (PG) または、オープナーで開けるタンパーグリップ (TG) になります。



フレームを手で開閉。
ポスターと表面カバーをセット。

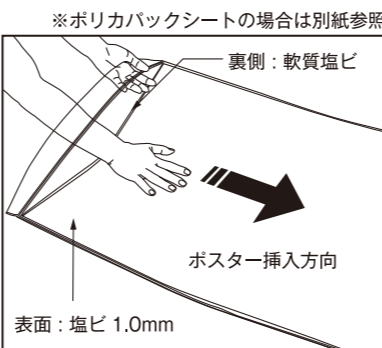
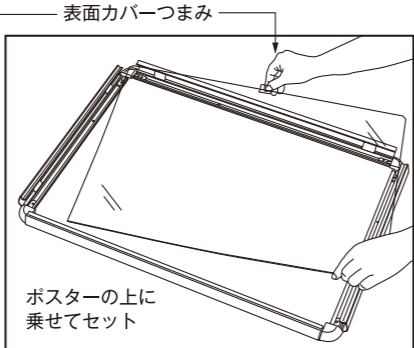
正面のトッフレームは手で開け閉めする構造になっています。溝に手をかけて外側に向けフレームを倒す事で4辺開けることができます。付属の表面カバーまたはバックシートを取り出し、お手持ちのポスターを表面カバーと一緒にセット、バックシート入仕様の場合はポスターをバックシートに入れてセットし、フレームを4辺開けて完了です。

いたずら盗難防止仕様。
専用オープナーで開け、
ポスターと表面カバーをセット。



正面のトッフレームは専用オープナーで開ける構造になっています。オープナーを左図の様にひっかけて外側に倒すことでフレームを4辺開けることができます。付属の表面カバーまたはバックシートを取り出し、お手持ちのポスターを表面カバーと一緒にセット、バックシート入仕様の場合はポスターをバックシートに入れてセットし、フレームを4辺開けて完了です。

ポスター保護は、ご選択いただいた仕様により、表面カバーまたはバックシートがセットされています。



表面カバー (透明アクリル)

ポスターの上から乗せて表面を保護する透明アクリル板のカバーが付いています。フレームをすべて開けると図のようにつまみが付いていますので、つまみを持ってゆっくり外し、保護シートをはがしてご使用ください。再セット時は角に切欠がない辺からセットして下さい。

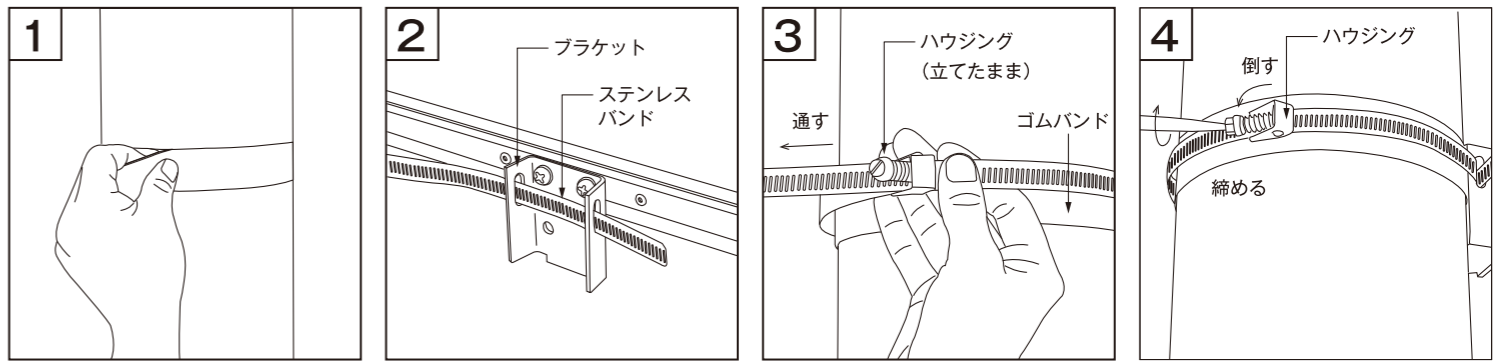
バックシート入仕様について

バックシート入仕様の場合、ポスターを水から守る塩ビ封筒状の袋「バックシート」が表面カバーの代わりに付属されています。袋の透明面側に絵柄を向けてポスターを入れ、袋ごとパネルにセットしてご使用ください。

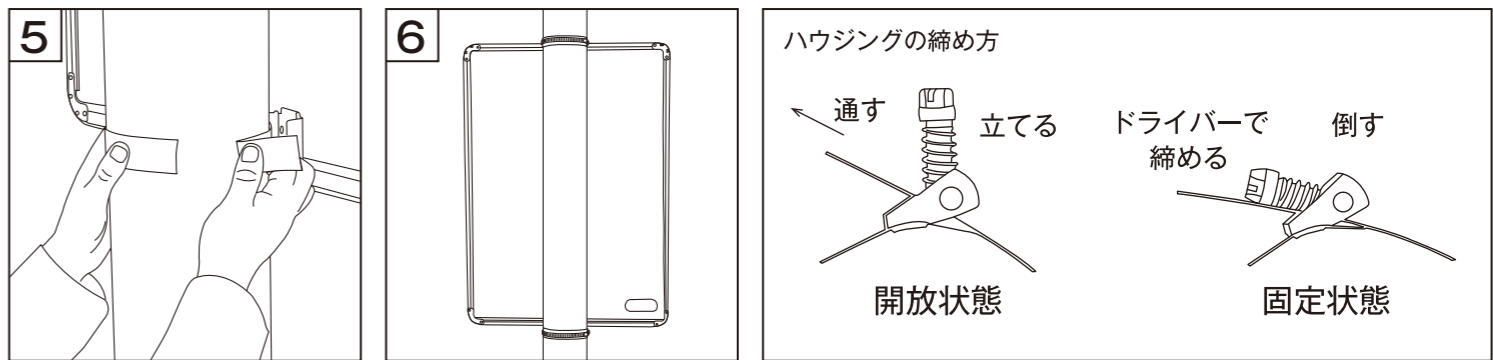
設置時は柱に確実に固定し、特に風の強い場所でのご使用は十分ご注意ください。

■取付手順 (パネル 1 枚)

付属品: ステンレスバンド × 2 / ゴムバンド × 2 / ブラケット × 2 (パネルに取付)
※B0・A0用はステンレスバンド・ゴムバンド・ブラケットが3つと補強バー × 1 がついています。



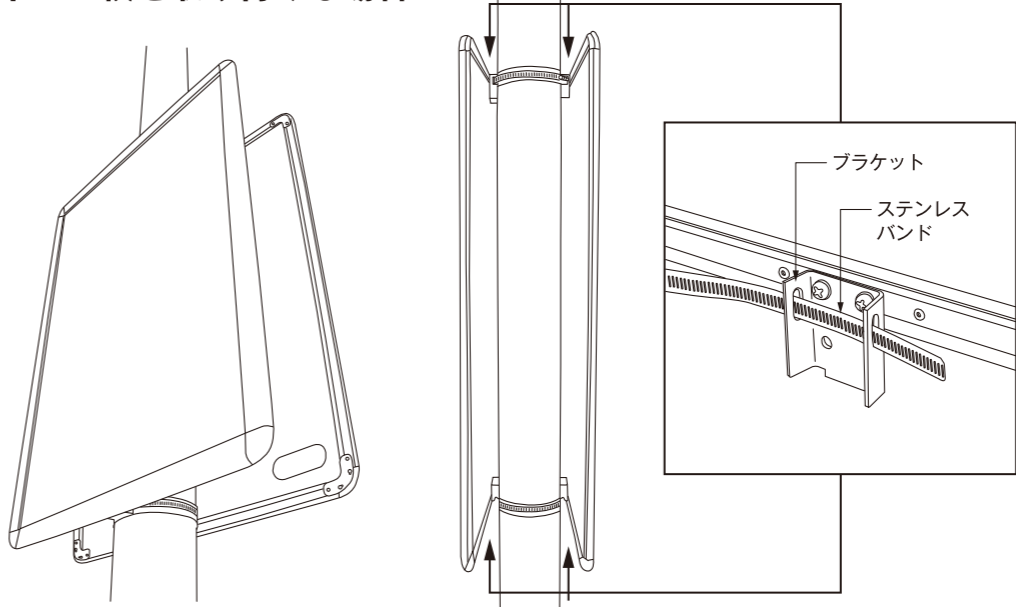
1 付属のゴムバンドを柱側の上部パネル固定予定位置に巻きます。
2 パネル上部のブラケットにステンレスバンドを通します。
3 通したステンレスバンドでゴムバンドを巻いた上から柱を巻く様にハウジングを立てたまま通します。
4 ステンレスバンドを引いて柱にパネルを密着させ、ハウジングを横に倒してドライバーで締めて固定して下さい。



5 下部も 1~4 の手順を同様に、取り付けます。
6 各バンドが十分締まっていることを確認して取付完了です。
ハウジングの締め方: 開放状態 (通す、立てる) / 固定状態 (倒す、締める)

ハウジングが立っている状態がステンレスバンドを通すことができる開放状態です。この状態でステンレスバンドを引き、パネルを柱に密着させたのちにハウジングを倒し、ドライバーで締め込むことで完全に固定することができます。

パネル 2 枚を取り付ける場合



1 セットのステンレスバンドで 2 枚のパネルを固定できます。

パネル 2 枚を固定する場合は、上記取付手順の「2」の段階で 2 枚目のパネルのブラケットにもバンドを通してからハウジングを締めて 2 枚同時に固定して下さい。同様の作業を下部にも行い、強く固定して下さい。

安全上のご注意・警告	
	フレームの開閉に板バネを使用していますので、開閉時に指を挟まない様に注意して下さい。怪我の原因となります。
	取付の際は、ステンレスバンドを手順通りに巻き、確実に固定して下さい。落下による怪我や故障、火災の原因となります。
	フレームの断面に触れない下さい。怪我をする恐れがあります。
	お子様の使用は危険ですのでおやめ下さい。お子様の手の届かない場所に保管・設置をお願いします。
	表面カバー・バックシートが確実にセットされていることを必ず確認して下さい。セット不良の場合、脱落や破損、怪我の原因となります。
	本体の分解・改造は絶対におやめ下さい。破損や怪我の原因となります。修理の際は販売店にお問い合わせください。



各国の MDI 品は数多くの特許・実用新案・意匠の権利を有し、日本国内でもその権利は保護されています。